

中里小学校 学校だより

おおくす

令和6年7月22日

第7号

文責 大石泰文

学校教育目標：夢をもち、みんなと共に生きる子どもの育成～中里仲良し(共に学び、共に育つ)～

言葉の力

先週、公認心理師の先生とお話をする機会がありました。話の中で、大人が子どもに話しかける時の「声かけの視点の違い」がとても参考になりました。

学校での様子が気になる親としては、子どもに対して「何か学校で困ったことはない?大丈夫?」「今日は嫌な事はなかった?」と聞いてしまいがちですが、そうするとどうしても子ども自身もマイナス面ばかり目が行ってしまいます。

だから「今日はどんなことが楽しかった?」「今日はどんないいことがあった?」とプラス面に目が向くように意識して聞くようにすると良い、とのことでした。

確かに、数日ならまだしも、毎日の会話の中で積み重なっていくことを考えると、そのことを意識しているかどうかは、子どもの考え方の形成に大きな影響が出てくるのかもしれないと思いました。

言葉には人を変える力があります。気持ちが前向きになるような言葉がけは、大人自身も大切ですが、子どもの成長にも大変重要だと考えています。

さて、今学期、全校で「ふわふわ言葉」を集めました。子どもたち自身で、こころが温かくなる言葉・元気になる言葉にはどんなものがあつたか、どんなものがあるかを考え、実際に使おうという取組です。

「ありがとう」「だいじょうぶ!」「いっしょにやろうよ」

「おめでとう」「がんばれ」「じょうずだね」

「がんばろう」「がんばったね」「いいね」

1年生から6年生までたくさんの「ふわふわ言葉」が集まりました。これからも「ふわふわ言葉」を意識して使うようにすると、さらに「中里仲良し」に近づけると思います。



楽しい夏休みに

子どもたちに、1学期に楽しかったことを尋ねてみると「佐世保特別支援学校との交流学習」「プール」「算数」「宿泊学習」など実に様々な答えが返ってきました。461名それぞれに、楽しい思い出ができたことでしょう。

4月8日に新年度がスタートして4か月弱、あっという間に夏休みを迎えました。明日は終業式が行われ、各学級でも振り返り・まとめがあり、子どもたちは通知表を持ち帰ります。

家庭での生活を含めてそれぞれの成長を振り返っていただき、頑張れたことやできるようになったことなどよく褒め、認めてあげて2学期の頑張りにつながるようお声がけください。

8月28日(水)まで夏休みとなります。夏休みは、親戚で集まったり家族でお出かけしたりするだけでなく、オリンピックやパラリンピックなど待ち遠しいイベントもたくさんあることでしょう。何よりも事故や怪我のない楽しい夏休みを過ごしてほしいと思います。

学校でも生活について指導しますが、特に長期休業は安全で規則正しい生活ができますよう、各ご家庭でのご指導をお願い致します。

特に、スマホやタブレットの使い方については、十分配慮をお願い致します。子どもたちが自由に使える状況にあると、たとえ仲良しであっても言葉の真意が十分伝わらずトラブルが必ずといっていいほど発生します。そうならないために、保護者の方がしっかり管理する必要があります。

8月29日(木)2学期がスムーズにスタートできますよう、お子さんと休みの過ごし方についてよく話し合われてください。

どうぞ、よろしくお願い致します。

